

「新たな目黒区民センター」で目指す空間・使い方のイメージ

現在、以下のイメージで検討を進めています。（R2.6「新たな目黒区民センターの基本構想」策定に向けた基本的な考え方（中間のまとめ）より引用）

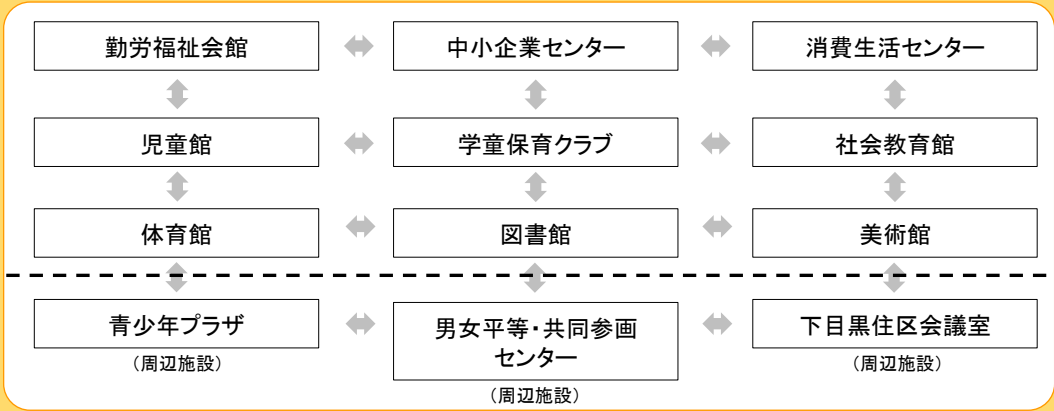
<空間>

現在

多くの施設に貸室が設置されており、それぞれの利用のされ方には類似性がみられるなど、施設全体での効果的な空間活用には課題が見られる。

新たな区民センター

より多くの区民活動に応え、より多くの区民の利用の実現に向け、施設ごとではなく、区民センター全体で効果的・効率的な空間づくりを行う。



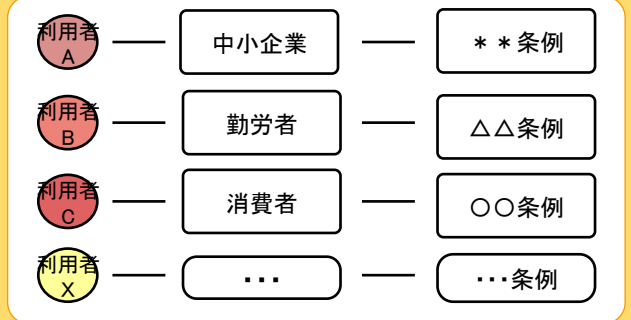
<使い方>

現在

各施設は条例に基づき、それぞれの分野ごとの区民サービスを提供しているため、利用は設置目的に沿ったものである必要がある。

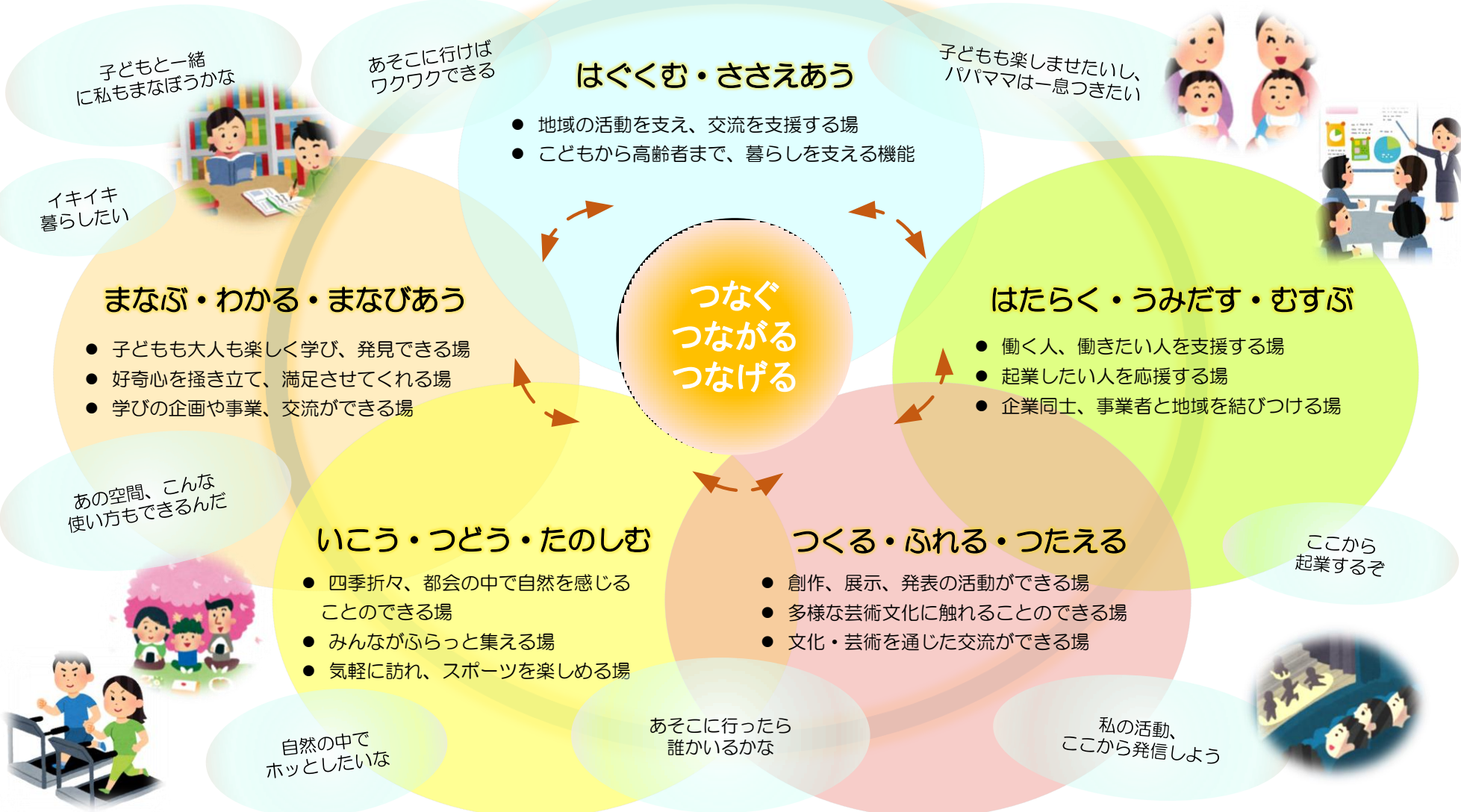
新たな区民センター

設置目的や施設担当所管の枠にとどまらず、より多くの方が、それぞれの目的に沿った活動を可能にする。



未来に向けた『融合・充実』の実現へ

「未来とつながる 人とつながる 新たな自分とつながる」 “できる” が広がる創造空間

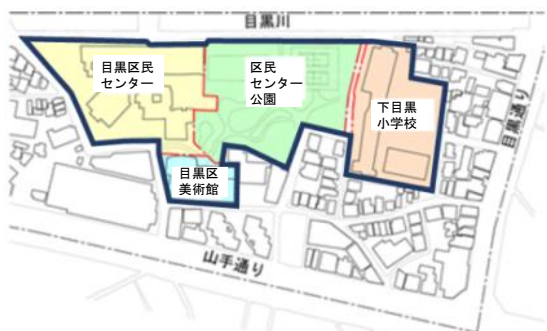


《新たな区民センター整備に向けた考え方》

<施設整備の方向性>

以下の敷地を含め、学校と一体的に建替え。

- ・区民センター
- ・美術館
- ・区民センター公園
- ・下目黒小学校



<民間活力の活用>

施設サービスの向上や新たなサービス提供に向け、建設及び運営において民間活力を高い割合で活用します。

<集約施設>

以下の施設機能を対象として検討を進めます。

- ・男女平等・共同参画センター
- ・青少年プラザ
- ・下目黒住区会議室